

第84期 中間報告書

2022年4月1日～2022年9月30日

世界のネットワークを通じて環境にやさしく、
安全と豊かなカーライフを創造して、社会に貢献する。

CENTRAL 中央自動車工業株式会社

本社 〒530-0005 大阪市北区中之島 4丁目2番30号
電話(06)6443-5182(代表) FAX(06)6443-6654
<https://www.central-auto.co.jp>

証券コード 8117



株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第84期の中間報告書(2022年4月1日から2022年9月30日まで)をお届けいたします。

代表取締役社長
坂田 信一郎



事業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか、活動制限の緩和や消費活動の正常化により、緩やかな景気回復の兆しが見られました。しかしながら、ロシア・ウクライナ情勢に起因する世界的な原油や原材料価格の高騰や急激な円安による為替相場の変動など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

4～9月の国内新車総販売台数(軽を含む)は、半導体不足の長期化や中国でのロックダウンに伴う生産停止の影響で、前年同期比6.2%減の約192万台となりました。内訳は、登録車で同9.6%減の約117万台、軽自動車においては同0.2%減の約75万台となりました。

このような環境下、当社グループでは、新商品の開発と異業種を含めた新規開拓を一層強化するとともに、お客様への訪問頻度をさらに高めながら、地域密着型営業を通じて付加価値の高いオリジナル商材の拡販および新規ビジネスの拡大に注力いたしました。

これにより、当社グループの売上高は161億56百万円(前年同期比112%)、営業利益は33億94百万円(同111%)、經常利益は37億18百万円(同110%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は25億64百万円(同112%)となりました。

当中間期末の配当金につきましては、前年同期比5円増配の1株当たり39円とさせていただきます。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

(自動車部品・用品等販売事業)

当セグメントにおきましては、国内部門では、新車の納期延長による影響を受けましたが、訪問活動の強化を通じて新規開拓に一層注力しながら、高付加価値商材の拡販と更に性能を高めた新商品の導入ならびに、新たな法改正により需要が急拡大したアルコール検知器の市場獲得に努めました。

海外部門では、円安が輸出商材への追い風となる一方、資源価格の高騰と納期の長期化が続くなか、各国の規制緩和を受けた海外出張の再開による地域密着型営業の強化とともに、引き続き現地拠点との連携やリモート営業を活用し、現地需要の取り込みと付加価値の高い自社オリジナル商材の新規提案活動に努めました。

連結子会社のセントラル自動車工業株式会社は、主力商

品であるCPCブランド商材の高品質化に製造部門として迅速に対応し、目標品質の維持と生産期間の短縮による鮮度の高い商材の提供を行いました。

これにより、売上高は133億11百万円(前年同期比112%)、セグメント利益につきましては31億94百万円(同110%)となりました。

(自動車処分事業)

当セグメントにおきましては、連結子会社の株式会社ABTは、社会活動の回復に伴う交通量の増加と局地的豪雨や大型台風による相次ぐ水災発生等の環境のもと、売上高拡大に向けた取組みと適切なコスト管理を行い、効率的な事業運営に努めました。

これにより、売上高は28億45百万円(前年同期比112%)、セグメント利益につきましては1億99百万円(同139%)となりました。

今後のわが国経済は、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められるなか、各種政策の効果から、景気が持ち直していくことが期待されるものの、世界的な金融引締め等による海外経済の下振れリスクは依然として存在しております。物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等を注視するとともに、新車生産への影響を慎重に見極め、環境変化への適切な対応が必要となっております。

こうした状況下、当社グループは、市場環境の変化に左右されない企業体質の構築を目指し、地域密着型営業とサー

ビス体制の更なる強化を通じて「新しいお客様を創る」「新しい商品を開発・導入する」「新しいビジネスモデルを創る」の3つの新規開拓を推進してまいります。また、法改正を見据えたアルコール検知器の安定供給と需要獲得に努めるとともに、国内外においてオリジナル商材を市場に浸透させるためのブランディングにも一層注力してまいります。さらに、SDGsやESGへの取組みをより具体的に推進し、社会に還元するとともに、M&Aや新規ビジネス等へ積極投資を継続することで、企業価値向上に努めてまいります。

そして、それらを実現する人材を育成するため、社内の行動指針である「インテグリティ」の精神を浸透させる教育体制の強化と新たな働き方に対応した労働環境の整備を推進し、社員力の更なる向上を通じて営業力と組織力を高め、新しい需要を創造し、社会に貢献できる開発型企業として株主の皆様のご期待にお応えする所存でございます。

何卒一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年12月

代表取締役社長 坂田 信一郎

会社の概要

設立	1946年5月10日
資本金	10億100万円
従業員数	企業集団の従業員数 309名 当社の従業員数 267名

事業内容

当社：自動車部品、用品および新商品ならびに関連サービスの開発・販売、輸出入
連結子会社：自動車用品製造および自動車部品、用品販売ならびに輸出入
損害保険会社の全損認定車両処分に関わる事業

国内事業所

本社	〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-30 電話(06)6443-5182(代表)	大阪支社	〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-33 電話(06)4803-5011(代表)
札幌支社	〒060-0032 札幌市中央区北2条東14-26 電話(011)241-8121(代表)	広島営業所	〒733-0012 広島市西区中広町1-4-34 電話(082)503-1350(代表)
仙台支社	〒983-0034 仙台市宮城野区扇町4-1-20 電話(022)231-9351(代表)	高松営業所	〒761-8031 高松市郷東町4-17 電話(087)881-4401(代表)
仙台支社盛岡営業部	〒020-0135 盛岡市大新町6-35アイビル大新町 1F 電話(022)231-9351(仙台支社代表)	福岡支社	〒811-1303 福岡市南区折立町11-10 電話(092)584-1333(代表)
北関東支社	〒321-0103 宇都宮市台新田町143 電話(028)658-2191(代表)	福岡支社南九州営業部	〒862-0912 熊本市東区錦ヶ丘13-8-102 電話(092)584-1333(福岡支社代表)
北関東支社高崎営業部	〒370-0046 高崎市江木町275-1フジノビル 201号室 電話(028)658-2191(北関東支社代表)	中之島R&Dセンター	〒530-0005 大阪市北区中之島4-1-15 電話(06)6443-5846(代表)
東京支社	〒173-0004 東京都板橋区板橋1-42-13 大佳板橋ビル5F 電話(03)5943-9088(代表)	東日本物流センター	〒345-0012 埼玉県北葛飾郡杉戸町深輪398-13 センコー(株)埼玉北支店杉戸PDセンター内 電話(0480)53-7112(代表)
静岡営業所	〒420-0816 静岡市葵区沓谷5-8-11 電話(054)261-3344(代表)	西日本物流センター	〒651-2241 神戸市西区室谷1-3-5(神戸ハイ テクパーク内)センコー西神戸PDセンター内 電話(078)990-0722(代表)
金沢営業所	〒920-0061 金沢市問屋町1-82-1 電話(076)237-6561(代表)		
名古屋支社	〒467-0875 名古屋市瑞穂区御剣町2-18 電話(052)882-1211(代表)		

海外事業所

デトロイト(米国)、シンガポール、ドバイ(UAE)、ジャカルタ(インドネシア)、マニラ(フィリピン)、広州(中国)、ヤンゴン(ミャンマー)、台北(台湾)、クアラルンプール(マレーシア)、ホーチミン(ベトナム)

子会社

セントラル自動車工業株式会社 本社工場(大阪府)
CAPCO PTE LTD(シンガポール)
CAPCO USA, INC.(米国)
株式会社ABT(東京都)

株式の状況

(2022年9月30日現在)

発行可能株式総数	普通株式	80,000,000株
発行済株式の総数	普通株式	20,020,000株
当中間期末の株主数		3,517名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
NORTHERN TRUST CO.(AVFC)RE FIDELITY FUNDS	1,116	6.04
日産東京販売ホールディングス株式会社	1,060	5.74
株式会社三菱UFJ銀行	888	4.81
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	794	4.30
東京海上日動火災保険株式会社	755	4.09
上野万里子	685	3.71
TPR株式会社	663	3.59
光通信株式会社	598	3.24
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	589	3.19
株式会社みずほ銀行	531	2.87

(注) 持株比率は自己株式(1,541,447株)を控除して計算しております。

中間連結貸借対照表

(単位: 千円)

資産の部	
科目	金額
流動資産	22,819,854
現金及び預金	15,834,568
受取手形及び売掛金	3,779,276
有価証券	1,001,148
商品及び製品	1,530,612
仕掛品	6,124
原材料及び貯蔵品	16,094
その他	657,030
貸倒引当金	△ 5,000
固定資産	22,196,616
(有形固定資産)	(3,907,209)
建物及び構築物	1,096,074
土地	2,597,790
その他	213,343
(無形固定資産)	(4,004,795)
のれん	3,910,481
その他	94,314
(投資その他の資産)	(14,284,610)
投資有価証券	12,329,869
その他	1,954,741
資産合計	45,016,470

負債の部	
科目	金額
流動負債	4,823,060
支払手形及び買掛金	2,208,369
未払法人税等	1,210,672
賞与引当金	395,998
その他	1,008,019
固定負債	1,427,190
退職給付に係る負債	1,312,363
その他	114,827
負債合計	6,250,251

純資産の部	
科目	金額
株主資本	38,084,911
資本金	1,001,000
資本剰余金	4,877,948
利益剰余金	32,797,223
自己株式	△591,261
その他の包括利益累計額	681,308
その他有価証券評価差額金	779,639
繰延ヘッジ損益	△ 1,281
為替換算調整勘定	29,243
退職給付に係る調整累計額	△ 126,293
非支配株主持分	—
純資産合計	38,766,219
負債・純資産合計	45,016,470

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	金 額	
売上高		16,156,473
売上原価		9,702,630
売上総利益		6,453,843
販売費及び一般管理費		3,059,204
営業利益		3,394,638
営業外収益		346,777
受取利息及び配当金	76,895	
持分法による投資利益	195,336	
その他	74,544	
営業外費用		22,511
支払手数料	4,004	
その他	18,507	
経常利益		3,718,904
税金等調整前中間純利益		3,718,904
法人税、住民税及び事業税	1,081,781	
法人税等調整額	72,070	1,153,851
中間純利益		2,565,052
非支配株主に帰属する中間純利益		995
親会社株主に帰属する中間純利益		2,564,057

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

取締役と監査役 (2022年9月30日現在)

代表取締役社長	坂田 信一郎
専務取締役	鳥野 善文
常務取締役	近藤 雅之
常務取締役	住吉 哲也
取締役	柿野 雅文
取締役	廣内 学
取締役	久保井 聡明
取締役	増田 文弘
取締役	酒井 規光
取締役	AHMED SAJJAD
監査役	具足 彰治
監査役	中山 正隆
監査役	堀内 武文

- (注) 1. 取締役 久保井聡明およびAHMED SAJJADの両氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
 2. 具足彰治、中山正隆、堀内武文の3氏は、会社法施行規則第2条第3項第8号に定める社外監査役であります。

主要取扱商品 (国内部門および海外部門)

区分	主要商品名
シャーシーおよび トランスミッション部品	ベアリング サスペンションパーツ ユニバーサルジョイント クラッチディスク&カバー ディスクパッド ショックアブソーバー デフレクションギヤー
電装品および カーエアコン	バッテリー ホーン カーエアコンパーツ イグニッションパーツ&ケーブル
エンジン メンテナンス関係	エレメント エンジンオイル ピストン&ピストンリング エンジンメタル ウォーター・フューエル・オイルポンプ ガスケット タイミングパーツ エンジンオイル添加剤 (メタルトリートメント)
ケミカルおよび 美装・環境システム	潤滑油 ウインドケミカル他 洗車用品 車外美装システム 車内抗菌・防臭コーティング ウインドウガラス撥水コーティング
その他	アルコール検知器 無機防汚コーティング剤 自動車シート保護防汚コーティング 自動車ボディ保護フィルム ワイパーブレード その他部品・用品

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777(フリーダイヤル)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います なお、電子公告は当社ウェブサイトに掲載し、そのアドレスは次のとおりです。 https://www.central-auto.co.jp/outline/kabu.html 事故その他やむを得ない事由により電子公告することができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

《ご注意》

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

《ご案内》

- 1.2014年以降の上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率について
2014年1月1日以降に個人の株主様が支払いを受ける、上場株式等の配当等には、原則として20.315%(※)の源泉徴収税率が適用されます。
(※)所得税15%、復興特別所得税0.315%、住民税5%
なお、株主様によっては本ご案内の内容が当てはまらない場合もございます。
詳細につきましては、最寄の税務署、税理士等にお問い合わせください。
- 2.少額投資非課税口座(NISA口座)における配当等のお受け取りについて
新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要がございます。
なお、期末または中間配当金につき「株式数比例配分方式」をご利用いただくためには、それぞれ上記の期末または中間の「配当金受領株主確定日」までにお手続きを完了しておく必要がございますのでお気を付けください。
また、ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

主な取扱商品

ボディコーティング



CPCボディアーマー マキシム CPCプレミアムコーティング エクスGN

新製品

- 役割の異なる3層のガラス質被膜をボディに形成。自動車用ボディコーティングに求められる機能・特性を最高レベルで発揮します。



CPCプレミアムコーティング ダブルGN / ダブルGベータ

新製品

- 自動車の塗装面に2層のガラス質被膜を形成。光沢、艶、膜厚感、持続性、汚れから守る効果等、全てを高レベルで実現します。

※日刊自動車新聞用品大賞2015「ケミカル部門賞」受賞。



ガラスコーティングガードコスメ ／ガードコスメSP

- ガラス質被膜とフッ素化合物被膜のハイブリッドタイプで、高級感のある輝きや光沢を一層際立たせます。

※日刊自動車新聞用品大賞2007「機能用品部門賞」受賞。



CPCペイントシーラント CPCガラスコート CPCガラスコートSP

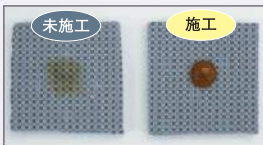


自動車のシートを汚れなどから守る

CPCファブリックコーティング CPCレザーコーティング



- 車内も美しく快適に保ちたいとのニーズに応え開発。ファブリック(繊維)とレザー(本革)の2タイプを用意しています。



※ファブリックコーティングのコーヒー滴下テスト。水分や油分の染み込みを抑え、汚れからシートを守ります。



※レザーコーティングの擦りテスト。保護効果で本革の表面を守り、シートの劣化を抑制します。

メタルトリートメント MT-10 (エムティーテン)

- エンジン内部の金属表面を滑らかにして摩擦抵抗を抑え、エンジンを守るオイル添加剤です。燃費効率の向上に貢献しながら、エンジン音も静かになり、始動性やレスポンスも向上、快適なドライブをご提供できます。
- MT-10エンジンリフレッシュャーは、エンジン内部に付着した汚れに浸透し、オイル内部に分散して洗浄するエンジンフラッシング剤です。



※MT-10エフィが日刊自動車新聞用品大賞2017「ケミカル部門賞」受賞。



抗ウイルス効果も持つ環境保護システム C.A.W 抗菌・防臭チタニア

- 抗ウイルス・抗菌・防臭効果を持つ特殊チタン化合物を空間のあらゆるところに噴霧・コーティングするシステムです。
- 自動車用の車内環境保護コーティングとして15年以上の販売実績を持ち、その優れた効果や安全性などからニーズが拡大。様々な生活空間で、抗ウイルス・抗菌・防臭効果を発揮しています。

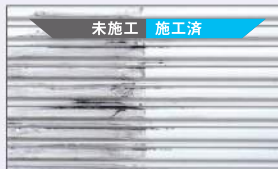
SIAA抗菌マークとSIAA抗ウイルスマークを取得しています。



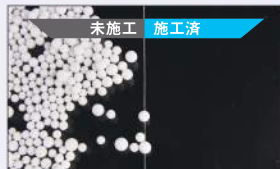
※CPCファブリックコーティングとのセットで、日刊自動車新聞用品大賞2021「ウイルス対策部門賞」を受賞。

EXCEL PURE 無機防汚コーティング剤 エクセルピュア

- ガラスなどの透明基材に塗布することにより、表面に親水被膜を形成。セルフクリーニング効果を持たせて、基材の汚れ付着を防ぎます。
- 太陽光パネルに塗布した場合、初期から光透過性が高まり、発電効率が向上することが確認できています。それらの事から太陽光パネルコーティングとして市場から注目されています。



防汚効果



帯電防止効果

Japan-Central Automotive Approved



プライベートブランド "J.C.A.P."シリーズ

- 「J.C.A.P.」は、中央自動車工業のプライベートブランドです。創業以来培ってきたノウハウを駆使して、各国の強味をコーディネートしながら、皆様にご満足頂ける商品をピックアップしました。
- 品質・生産能力・コスト等を吟味して、今後もシリーズの拡充を図っていきます。



SOCIAC アルコール検知器 "ソシアック"シリーズ

- 多数の官公庁、地方自治体、一般企業様、さらには警察の飲酒検問・第一次検査用としても採用されているアルコール検知器です。



- 新たな法改正や、ニーズが高いクラウド管理にも対応。全機種「アルコール検知器協議会」の認定マークを取得しています。

アルコール検知器 ネオブルー



新製品

売上代金の一部を公益財団法人
交通遺児等育成基金へ継続して
寄付させて頂いております。

※日刊自動車新聞用品大賞2003「特別賞」、同2008「セーフティ部門賞」、同2011「セーフティ部門賞」受賞。

海外拠点を拡充・活用しながら グローバルに展開 自動車用部品

- 世界60数カ国をネットワークして、日本の優れた自動車用部品を海外に、また厳選した海外生産の部品を他国へ、グローバルに輸出入しています。
- 現地に赴き地域ごとに異なるマーケットニーズや販路状況等を調査しながら、それらにマッチした商材を幅広く紹介。海外営業拠点を拡充しながら、新たなマーケットの開拓にも努めています。





FS 543170 / ISO 9001
EMS 543169 / ISO14001
本社 国内支社・営業所

研究開発施設 中之島R&Dセンター

2017年6月に開設いたしました研究開発施設「中之島R&Dセンター」は弊社の核となる施設であり、設備の増強や、研究スタッフの増員を行いながら稼働しております。今後も開発・改善・改良のスピードと精度を向上させ、一層皆様のお役に立ち、ご満足頂ける開発型企业となるべく、本施設をフル活用してまいります。



- マイナス30℃の環境を作り出し、雪国の再現もできる恒温恒湿室
- 気温・湿度等、四季の気候を再現できる人工気象室
- 10,000倍以上の倍率で観察できる卓上走査型電子顕微鏡



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



当社企業理念のもと、ESGの観点から持続可能性を追求するとともに、お客様の期待を上回る商品・サービスを提供する開発型企业として、社会を取り巻く課題に対応した事業活動を行い、SDGs(持続可能な開発目標)に貢献してまいります。

当社のESGに対する活動は下記HPにおいて公表しております。

<https://www.central-auto.co.jp/company/esg/index.html>